

2022年  
2月24日(木)

第4例会 第2803回 No.59-25

## 本庄ロータリークラブ週報

クラブテーマ MORE INTEGRITY ~より一層の高潔性を~

### 会長の時間

平和と紛争予防・紛争解決月間

2

皆さん今晚は、本日はドイツのお話をします。1990年に私は(社)日本青年会議所、個性あるまちづくり委員会に出向しました。委員会のミッションに海外視察があり、個性あるまちづくりに、地方分権規制緩和が一番進んでいるドイツの視察を行いました。ドイツの視察は驚くことばかりでした。まず驚いたのは、地下鉄の電車に乗り各駅に停車時、車内の伝言版に次の停車駅の文字が出るだけで、停車駅の車内アナウンスは有りませんでした。ガイドに聞くと自分で管理しているとのこと。日本の様に酔っ払う人はいないそうです。電車を降りて改札口はなく、大きなダンボール箱が幾つかあり、みんなそのダンボール箱に投げ捨てていく、ガイドに聞くと改札口に人が入らなくなるから運賃が安くなるとのこと。また一斉に改札口が通れるので早く移動が出来るとのこと。私はガイドにキセルする人はいないのですかと聞くといいそうです。キセルした場合、3回したら海外に追放となるそうです。

ドイツは、自動車のシートベルトの義務化が国会に提案されましたが廃案になりました。自分で購入した物に使い方罰金を払うのはおかしいであろうと廃案になりました。ではシートベルト率は88%の人がしているそうです。又シートベルトをしなくても良いようにエアバックの開発がされました。ドイツのアウトバーン(高速道路)ですが、皆さんがよくご存知かと思えます。一部ですが無制限にスピードが出せます。アウトバーンが日本のように最高速度が100kmに制限されたら、ドイツ人の考え方なら100km以上出すところが無いのに100km以上出る車を作るのはおかしいとの考えで、ボルシェ・ベンツ・BMWが100kmしか出なれば車が売れなくなる。又アウトバーンは、有事時には戦闘機が発着出来るように真直ぐ作られています。日本は眠くならないようにあえて曲げて作られています。別の時ですがアウトバーンを走行していたら後ろからジェット機が来た音がしたらボルシェ、フェラーリが300kmで追い越し車線を走って行きました。

SERVE TO  
CHANGE LIVES



奉仕しよう  
みんなの人生を豊かにするために

Rotary 国際ロータリー  
第2570地区  
2021~2022年度

2021~2022年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ  
2021~2022年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 水村雅啓  
地区スローガン **もっと夢をもっと奉仕を**

会 長	金井福則	副 会 長	織田裕之
会長エレクト	佐藤賀則		須永秀和
幹 事	相川浩一		永井保之



金井福則 会長

フランクフルト大学に視察に行った時に信号が赤なのにガイドが「渡りましょう」とのこと「信号機が赤ですよ」と話すと車が来ないからいいのですとのこと、但し12歳以下の子供がいたら絶対に渡らないとのこと。そこまで人は律することが出来るのかと思ったらドイツ人は凄い。自動車を運転をしているドライバーも青信号でも人が渡るのだと思っているから、信号機のあるところは注意するから事故も少なくなると話されました。まだまだ、ドイツの視察で驚いたり学んだことが沢山ありました。

地方分権規制緩和が進んでいるドイツを視察して、地方分権規制緩和とは一言で言うと自己責任ということです。

即ち大人になるということです。自己責任『自立』

### 幹事報告

本日の幹事報告はありません。

